

令和元年度 第1回医療安全監査委員会報告書

1. 監査の方法

国立大学法人信州大学医療安全監査委員会規程第2条第1項に基づき、信州大学医学部附属病院における医療安全に係る管理体制の取組状況について、管理者等からの説明の聴取及び資料の閲覧等の方法によって監査を実施した。

- ・日時： 令和元年11月 1日（金）17：00～18：30
- ・場所： 信州大学医学部附属病院 外来診療棟4階 中会議室

2. 出席者

委員

- ・委員長：田内 克典（社会医療法人財団慈泉会相澤病院 病院長）
- ・委員：高木 洋行（松本市立病院 病院長）
- ・委員：宗村 和広（信州大学経法学部 教授）
- ・委員：小西 育子（公益社団法人長野県看護協会 常務理事）

説明者

- ・本田病院長，花岡医療安全管理責任者，塩沢高難度新規医療技術担当部門長，神田未承認新規医薬品等担当部門長・医薬品安全管理責任者，清水医療安全管理者，永田医療安全管理者，野瀬医療安全管理者，竹澤医療安全管理者

3. 監査の内容

(1) 医療安全管理に係る体制について

- ①医療に係る安全管理の指針の整備（資料No.1）
 - ②医療安全管理委員会設置及び業務（資料No.2）
 - ③医療に係る安全管理のための職員研修（資料No.3）
 - ④医療機関内における事故報告等の状況（資料No.4）
- 上記の項目について資料により説明があり，種々意見交換がされた。

(2) 特定機能病院の承認要件に関する対応状況について

- ①医療安全管理責任者の配置及び業務（資料No.5）
- ②説明責任者及び診療録等の管理責任者の配置と業務（資料No.6）
- ③医療安全管理部門の設置と専従医療者の配置（資料No.7）
- ④高難度新規医療技術担当部門の設置及び管理（資料No.8）
- ⑤未承認新規医薬品等担当部門の設置及び管理（資料No.9）
- ⑥全死亡例の報告及び診療内容のモニタリング等（資料No.10）
- ⑦相互のピアレビュー（資料No.11）
- ⑧患者相談窓口と内部通報窓口（資料No.12）
- ⑨マネジメント層の研修（資料No.13）
- ⑩監査委員会による外部監査（資料No.14）
- ⑪重要事例の報告（資料No.15）

上記の項目について資料により説明があり、種々意見交換がされた。

(3) 医療安全管理室の業務について

- ①会議・委員会（資料No.16）
- ②インシデント報告（資料No.17）
- ③院内医療安全ラウンド（資料No.18）
- ④医療安全研修（資料No.19）

上記の項目について資料により説明があり、種々意見交換がされた。

(4) 前年度監査結果からの講評について

次回の本委員会（第2回）で報告することとした。

(5) 医療安全監査委員会の委員組織について

本委員会の組織について、医学部長が委員になっており、監査組織として適切ではないと思われるため、審議の結果、医学部長を除くことが承認され、次回の本委員会（第2回）で規程改正（案）を審議することとし、医学部長の委員委嘱は今年度までとした。

4. 監査の講評・意見

信州大学医学部附属病院の医療安全に係る体制について監査を実施したが、概ね適正な運営がなされていたと認める。

なお、以下について講評及び意見とする。

医療安全のための職員研修について、年間計画で多くの研修プログラムが計画されており充実している。

また、各部署へ受講状況を定期的にフィードバックすることにより、全職員が確実に出席できる体制が整っている。

なお、特殊なケアユニットに関しては、それに伴った特異的な研修プログラムの準備について検討願いたい。

インシデント報告について、インシデントの具体的な基準を設定しオカレンスとしてカルテレビューを行い担当医師へ報告を促すことにより、医師の報告数が伸びている状況は評価できる。

患者相談窓口において、患者からの相談はもちろんのこと、苦情やクレームについても一旦は受入れ、その後担当部署へ割り振ることにより機能的に運用されている。

職員の安全管理として、患者の暴言、暴力に対応する手順やルールについて、対応フローチャートを含む、院内暴力対策マニュアルが整備されており評価できるが、施設・設備、建物、外注業者等のライフラインを含む安全管理も重要であり、これらの安全管理責任者や安全管理委員会の設置について検討願いたい。

患者確認のルールとして、2つの方法で確認が実施されているところではあるが、

救急外来に搬送される氏名、年齢不詳の患者についても確認する方法を検討願いたい。

次回開催（第2回医療安全監査委員会）は、令和2年2月14日（金）とした。

以上

令和元年11月25日

国立大学法人信州大学医療安全監査委員会

委員長 田内 克

